

エビイモの省力栽培体系の構築を目指して

エビイモは、京のブランド野菜のひとつであり、府内全域で生産を振興しています。しかし、エビイモの栽培管理や収穫作業は主に手作業で行われており、生産拡大にはこれら作業の省力化が求められています。

そこで、当センターでは昨年度から省力栽培体系の構築を目指した試験を進めています。

5月10日にエビイモ苗の定植を行い、今年度のほ場試験を開始しました。

今後、株元に土を寄せる作業における専用の機械の導入による作業回数の削減や除草剤利用を組み合わせた雑草管理の方法などを検討し、省力化の程度や、収量・品質に及ぼす影響を評価します。



エビイモ苗定植の様子



除草剤処理区の設定(紐で囲まれた部分)